

【担当教員名】 遠藤 和男	対象学年	2	対象学科	理学・言語・社会
	開講時期	前期（前半）	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

<概要> 従来国家試験科目として公衆衛生学が必須なのは管理栄養士のみであった。しかし、理学・作業療法士の国家試験においても、今後必須科目になる可能性が大である。特に作業療法学科では今のところ選択にもなっていないため(新カリでは両学科とも必修となる)、4年次に補習する予定である。言語聴覚士及び社会福祉士でも類題が出題される可能性は大きい。

<一般目標：G I O>

医療に関係する職種として、また健康な生活を送る一般人として、生活習慣病の予防方法を修得し、健康的な生活を送るために、自己の生活の目標を設定できる。

<行動目標：S B O>

1. 公衆衛生の定義を説明できる。
2. 疾病の予防として一次から三次予防を区別できる。
3. 各疾患の特徴をふまえた上で、それぞれの予防対を説明できる。
4. 現在の健康状態からみて、健康的な生活について自己の目標を設定できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題
1	公衆衛生の定義と歴史	公衆衛生及びWHOの健康についての定義と公衆衛生の歴史を学ぶ。	1 講義（毎回ミニテストを実施する）
2	生活環境と環境保健	物理的、化学的及び生物学的な環境要因について学ぶ。	1 同上
3	公害の種類と公害病	7つの公害と公害によって引き起こされる疾患及びその対策を学ぶ。	3 同上
4	疾患の自然史とモデル	疾患の自然史と一次から三次の予防方法、易学の三角モデルを学ぶ。	2 同上
5	生活習慣病と健康管理	がん、心臓病、脳卒中、糖尿病について集団健診と健康管理を学ぶ。	3,4 同上
6	母子保健と学校保健	少子化の中でエンジェルプランや学校保健の問題点を学ぶ。	3,4 同上
7	産業保健と労働衛生	代表的な職業病や職場における安全・衛生の取り組みについて学ぶ。	3,4 同上

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	シンプル衛生公衆衛生学2004	久道茂、鈴木庄亮編	南江堂	2004年、¥2400+税、毎年改訂
参考書				
その他の資料	毎回補足的な最新データを加えたレジュメを配布する予定である。			

【評価方法】 試験期間前に簡単な模擬試験を実施した上で、本試験は5者択一方式の国家試験形式による。	【履修上の留意点】 <概要>にも書いたとおり、やがて社会福祉学科以外は国家試験の必須科目になると思われ、社会福祉学科においてもそれぞれ必須科目の関連事項として出題される可能性は大きいと、一般常識としても履修しておいて損はないものと思われる。
--	---